

IMGUメッセージ

第10期（2023年度） 定期本部大会 特別号



前半年度の振り返りと 後半年度の計画

各支部活動紹介



VOICEサイクルを
推進!

第10期
前半年度
活動表彰



メンバーのみなさん、
後半年度も宜しくさ~!

IMGU公式マスコットキャラクター「イングちゃん」

定期本部大会とは？

労働組合の合議体のうち、最高の議決機関で、各支部（グループ企業ごとの組合組織）の組合員の代表（本部大会代議員）が集まり、本部の方針、決算、予算、労働組合のルール（組合規約）の改訂などについて、話し合っ決定するうさ！
第10期から活動期間と役員任期が1期1年から1期2年に変更されているので、前半年度の活動を振り返り後半年度の活動期間がスタートうさよ



教えて!! イングちゃん

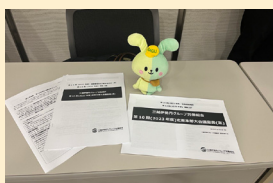


CONTENTS

- 2 目次・定期本部大会の議案
- 3 第10期運動方針テーマ
- 4 第10期本部分野別活動ポイント
(前半年度の振り返りと後半年度の計画)
- 8 第10期後半予算について
- 9 第10期前半年度各支部活動紹介
- 15 第10期前半年度活動表彰
- 17 議案に寄せられた質問・意見
- 18 委員長挨拶
- 19 渉外活動／本部社会貢献担当からのお知らせ
- 20 組合事務所・共済会 窓口のご案内

第10期(2023年度) 定期本部大会の議案

- 第1号議案「監査報告の件」
- 第2号議案「第10期(2022年度)活動経過報告および
第10期(2023年度)活動計画(案)に関する件」
- 第3号議案「第10期(2022年度)決算報告および剰余金処分(案)に関する件」
- 第4号議案「第10期(2023年度)予算(案)に関する件」
- 第5号議案「第10期(2022年度)活動表彰に関する件」
- 第6号議案「組合規約の改定に関する件」



議案書はこちらから
ご確認下さい



◀ココをタッチ!

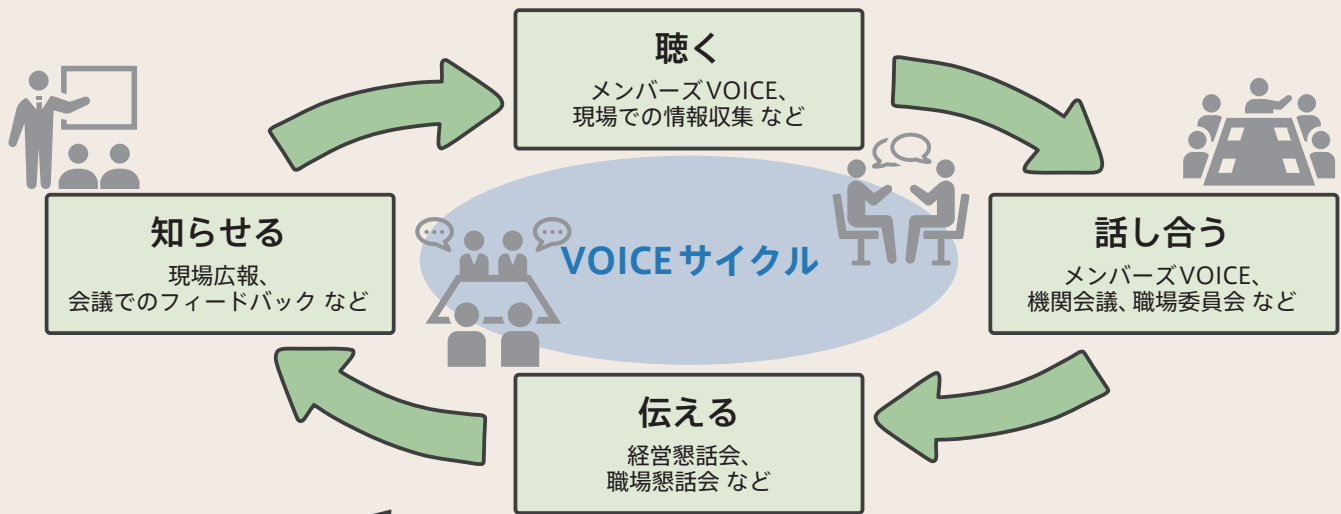
メンバーのみなさん、
第10期後半年度も宜しくお願い致します!



定期本部大会終了後レセプションにて記念撮影

第10期運動方針テーマ

みんなで「VOICEサイクル」をまわし、一つひとつ成果を積み重ね、
IMGUをより強い組織へ持ち上げよう



第10期運動方針テーマ概略

- 「VOICEサイクル」は、職場の課題解決はもとより、あらゆる活動を推進するにあたって、その根幹となるとも重要なもので、4つの要素を欠けることなく取り組むことで、活動の好循環が生まれます。
- 職場が抱える課題を、メンバー全員で「VOICEサイクル」をまわし解決することで、その成果の積み重ねがIMGU組織全体の力となり、メンバーがグループで働くことへのやりがいや安心感へとつながります。
- そのために本部は、グループ全体にかかわる政策を推進する一方で、各支部の活動と、その中心で取り組む兼任役員やメンバーを全力でサポートするとともに、各支部の活動を共有化しさらに磨き上げていくための仕組みづくりをおこないます。

第10期前半年度の振り返り

VOICEサイクル

- 4つの要素のそれぞれについて、具体的な施策にまで落とし込んだ取り組みが各支部で推進されましたが、「VOICEサイクル」をまわすことによる課題解決や、その成果の積み上げを目指すものになりきれていないことが課題としてあげられます。

支部統括担当による支部活動の活性化

- 第9期から組織した百貨店・関連各支部統括担当によるサポートについて、情報共有・意思決定のフローや、支部統括担当の裁量などをあらため、より本・支部間のコミュニケーションを密にすることに取り組まれました。

活動期間と役員任期について

- 本・支部運動方針の実現と完遂は、第10期の2年間で一定の成果をあげることを想定しています。
- また、この先のIMGUを担う人財を教育・育成するためにも、前半年度の振り返りと後半年度の活動計画は非常に重要となります。

第10期後半年度にむけて

「VOICEサイクル」を目的にしない循環による課題解決

- 後半年度では、「VOICEサイクル」の一つひとつの取り組みのブラッシュアップはもとより、サイクルを循環させることによる課題解決に対してより高い意識で臨むことで、運動方針テーマの実現をはかっていきます。

兼任役員・メンバーのさらなる参画推進

- 兼任役員・メンバーのさらなる意識醸成や、活動参画のボトルネックの抽出と課題解決、各支部好事例の共有を目的とした活動に継続的に取り組むことで、主体的な支部活動をより発展させていきます。

「問題解決力」と「マネジメント力」の強化

- 「問題解決力」と「VOICEサイクル」の手法をかけあわせることで、課題解決と成果の積み重ねに努めます。
- また、兼任役員により主体的な活動参画や、メンバーの巻き込み方についても研究を重ね、組合役員の「マネジメント力」強化をはかります。

第10期 本部分野別活動のポイント(前半年度の振り返りと後半年度の計画)

定期本部大会では第10期前半年度の活動の振り返りが報告されました。
それぞれの振り返りと活動計画(できたこと/反省と今後に向けて)をお伝えします。

1 経営対策

- メンバーが知りたい会社の動きを確認するとともに、メンバーの声や想いを会社に伝える。
- 各支部の経営対策活動における悩みごとに対して、共に考え、解決する。

できたこと

- HDS経営懇話会を定例開催し、機関会議にて内容を共有、各支部の関心事や疑問を議題・質疑に反映できるよう働きかけと調整をおこないました。
- また、各支部の経営対策活動の活性化と、専従者・役員の知識・スキル向上を目的に、決算発表資料のレクチャーや、各社財務諸表に関するプレゼンテーション、VOICEサイクルにおける「話し合う」スキル向上にむけたファシリテーション力養成などの各種カリキュラムを実施することや、外部講師を招いた「ロジカルシンキング」セミナーを実施しました。

反省と今後に向けて

- 前半年度でも取り組んできたアクション、学びの機会の提供や「問題解決力」の向上など経営対策につながるカリキュラムについては、引き続き内容をブラッシュアップさせながら継続的に取り組みます。
- 一方、課題を残した点については、支部にとってHDS経営懇話会の場をより有益に活用してもらえよう、さらなる工夫に取り組むとともに、経営対策活動を推進するうえでのあらためての基礎固めとして、各支部労使コミュニケーション(関係性)の実態把握や、課題解決にむけても取り組みます。



▲支部の経営対策活動の活性化



▲決算発表資料のレクチャー



▲HDS経営懇話会

2 労働福祉

- グループ全体に関わる制度や働き方について会社と協議する。
- 各支部労使通年協議の成案化にむけたアドバイスと、労使協議のフォローをおこなう。

できたこと

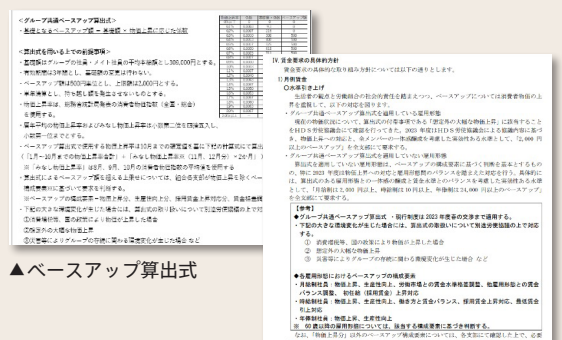
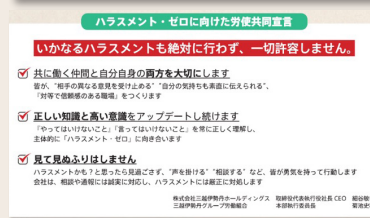
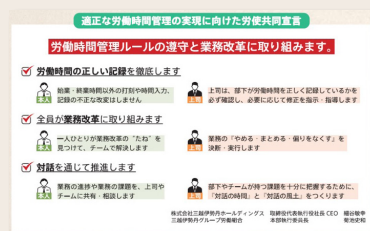
- ベースアップ算出式では、物価上昇に基づいた本部方針の策定と成案化をおこないました。
- 労働時間管理やハラスメント防止のベースとなる宣言やポスターの実現・発信につながる取り組みをおこないました。
- 中長期的な協議に向け労働福祉ビジョンを策定し、各支部の労使協議につなげました。
- 各統括担当と連携し、各支部の労使協議のサポートをおこないました。

反省と今後に向けて

- 課題対応が中心となった労使協議では、労働福祉ビジョンをベースに協議項目を設定し、人財の活性化と納得性のある人事賃金制度・運用の整備に取り組むとともに、職場風土・福利厚生等幅広い議論と検討をおこないました。
- 課題が残った他社の労働条件の調査・研究を推進した上で、労組内の知識としての共有もおこない主体的な協議につなげていきます。



▲労働福祉ビジョンを策定



▲ベースアップ算出式

▲労働時間管理やハラスメント防止のベースとなる宣言

3 政策・政治

- 上部団体・UAゼンセンの活動をつうじてメンバーの働く環境改善に取り組む。
- メンバーにとって、政治がより身近に感じられるような活動をおこなう。

✔ できたこと

- UAゼンセン・組織内参議院議員を通じた政策実現へ、各活動における意見・提言をはじめとした参画を行うとともに、万引き防止対策強化等の政策に関わるアンケート協力に取り組みました。
- 政策・政治活動についての役員意識向上やメンバーが身近に感じられるよう、本部役員の勉強会や本支部の情報発信に適宜取り組みました。

🚩 反省と今後に向けて

- 政策実現を目指し活動するUAゼンセン・組織内参議院議員について、より身近に感じ、メンバーの労働条件・働く環境改善に繋がる政策活動(カスハラ対策等)の情報発信を強化していきます。
- 2025年参議院議員選挙にUAゼンセンが擁立する「田村議員」について、UAゼンセンと本支部が連携を図り、支援に取り組みます。

▼北朝鮮拉致被害者家族支援活動



▼メンバーの労働条件・働く環境改善に繋がる政策活動



◀「田村議員」参議院議員選挙支援の取り組み

4 広報

- IMGUの活動を一人でも多くのメンバーに知ってもらおう。
- メンバーが知りたい情報を、わかりやすく、すぐに知れる仕組みをつくる。

✔ できたこと

- 各支部を巻き込みつつ広報活動の活性化に努めてきました。技術的な事なのか、規模感の問題なのか、各支部の異なる項目ごとの課題を伺いつつ、解決に向けサポートしながら、全体の活動の底上げを図りました。
- HPは月平均5,000件となり、HPリニューアル後、着実に閲覧数を伸ばしてきています。Xについても、当初掲げていました、フォロワー1,000件の達成をしました。
- 対外向け用の組合パンフレットの作成や、広報誌「IMGUメッセージ」の刷新に努め、イメージの向上に寄与しました。

🚩 反省と今後に向けて

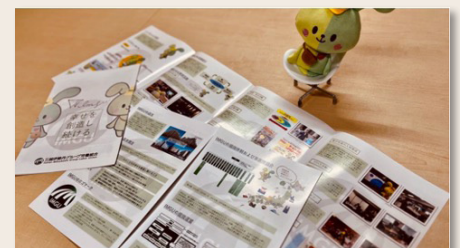
- 広報活動は重要である認識は前半の活動で徐々に高まっているものの、支部ごとにまだまだバラツキがあります。なんらかのデバイスに上げることが目標と考えてしまう傾向もあり、広報活動の意味合いを充分共有しきれていなかったと考えています。
- HPは、外部向けの発信が数とともに弱かった事。LINEに関しては、目標友だち登録件数5,000件への未達でした。
- Xに関しては、労働組合ならではの活動に関与した発信に課題を持つなど、今後は、内容にもこだわりたいと考えています。



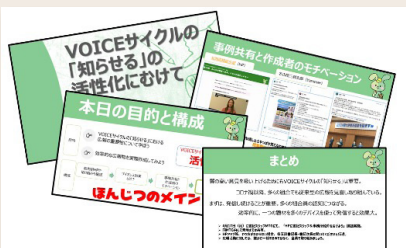
▲広報誌「IMGUメッセージ」の発行



▲Xによる活動内容の発信



▲対外向け用の組合パンフレットの作成



◀広報活動の周知・ポトムアップに向けた講義資料

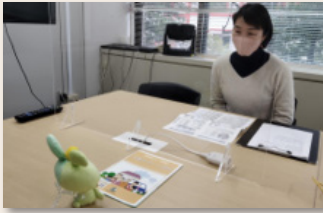
5 ダイバーシティ推進

- さまざまな事情を抱えるメンバー同士が「お互いさま」の気持ちでサポートし合える会社にする。

できたこと

- 部下のサポートをする際に役立つ正しい知識の提供を目的に、グループ各社の管理職へ「育児サポート百科」を配布しました。
- 2023年1月、5・6月に介護個別相談会を開催し「介護と仕事の両立」に不安や課題を抱えているメンバーの支援をおこないました。
- 「相談窓口」となる役員の育児や介護と仕事の両立の意識・知識の向上を目的に勉強会を開催しました。

▼介護個別相談会の開催



反省と今後に向けて

- メンバーに向けて、本部広報紙を通じてIMGUのダイバーシティ推進の考え方を発信しましたが周知範囲は限定的となりました。今後は様々なツールを活用し、メンバーが必要な情報を入手できる環境を整備します。
- 支部によっては単独のダイバーシティ推進活動が難しい状況も把握できたため、本部としての「各支部をつないだダイバーシティ推進活動」を検討します。
- 「介護と仕事の両立」について多くのメンバーに知ってもらうための取り組み(セミナー開催など)に着手します。



◀育児や介護をテーマに意識・知識の向上を目的に勉強会を開催

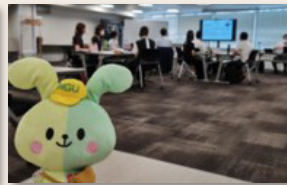
6 メンバー教育サポート

- メンバーの人生を豊かにするための学びの機会を提供する。

できたこと

- 「ユニオンプランの体系」に基づき、30・40歳むけ「ライフキャリアプランセミナー」を地域も含めた百貨店事業会社と関連事業会社合同で開催しました。
- ライフプランでは、デジタルコミュニケーションのテーマでカリキュラム配信をスタートし、SDGsのテーマでは、こども食堂や自然環境保護に関する動画を配信しました。

▼ライフキャリアプランセミナーの開催



◀こども食堂や自然環境保護に関する動画を配信

反省と今後に向けて

- 教育サポートの取組みに関する積極的な情報発信は具体的な取組みが不足し、参加者の増加につなげることができていません。
- ライフキャリアプランセミナーは50歳対象のライフキャリアを中心としたカリキュラムと、30・40・50歳対象のマネープランのカリキュラムを開催します。
- 教育サポート活動全般に関する情報を定期的にメンバーに発信することで、メンバーが必要な情報を入手できる環境を整備します。

7 役員人財教育

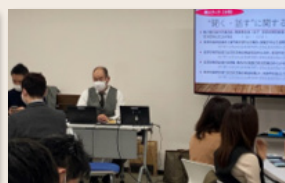
- さまざまな活動を推進する組合役員の知識・スキルの習得をサポートする。IMGUを支える人財を、将来を見据えて育成する。

できたこと

- 毎月、組合専従を中心にユニオンスクールを開催し知識・スキルの向上に努めています。第10期は“ミドル編”として、「VOICEサイクル」を回すために必要なスキルを「聞く・話し合う」「伝える」「知らせる」スキルに分解し、ロールプレイなどの実践を意識したカリキュラムを企画・実行しました。

反省と今後に向けて

- 毎月のユニオンスクールで学んだスキルを、実際の活動に反映する点は未だ課題があり、第10期後半はより実践に活かせるワークを行いつつ、活動のレベルアップを図ります。
- スキルチェックリストを活用した基礎知識の向上や、外部教育派遣の強化にも取り組めます。



◀ユニオンスクールの開催

8 社会貢献

- よりよい地域・社会実現のための一助となる活動をおこなうとともに、メンバーの社会貢献への意識を高めるための情報を発信する。

✓ できたこと

- 2022年冬・2023年夏の愛の募金活動は面前での募金活動を推進し、前年以上の参加を実現することができました。また増加傾向である国内の自然災害への対応として被災した仲間への援助を優先とした募金ガイドラインの整備を行いました。
- 地域の各支部でフードドライブを通じ、地域の子ども食堂への寄付の実施や、日本自然保護協会の講演を活用しながら地域における各地の清掃活動の紹介をスタートしました。
- 東北復興支援活動は、「震災を風化させない」「防災意識の醸成」の観点から取り組みました。2023年6月のIMGUメッセージで石巻の現在や震災当時の状況、地域の魅力などを紹介しました。また、2023年7月には視察ツアーを実行しました。ツアーでは未経験者や子どもが参加できる環境を整備し、“伝える”をテーマに参加者による情報発信を促しました。

🚩 反省と今後に向けて

- 自然環境保護など、SDGsとの関連性や私たちに身近な問題としての情報発信については、メンバーの認知度や参画につなげるには至りませんでした。
- 愛の募金活動は面前での募金の継続的な推進など、各社の勤務環境に合った活動を通じ、より多くのメンバーの参加につなげます。
- 社会福祉活動では、各支部でフードドライブの実施や地域にある子ども食堂への支援を継続します。
- 東北支援活動については2024年春には前回の視察ツアーの報告広報を発刊します。2024年夏には前回同様に初めての参加者むけの視察と情報発信を目的としたツアーを開催します。
- 資源・環境保護では、首都圏でのメンバー動員型清掃活動の開催と、本・支部における清掃活動の情報発信を強化し、メンバーの意識啓発や活動への参画機会の充実を図ります。
- IMGUの社会貢献の取組みをメンバーへ周知し参画につなげるため、年間を通じ計画的に活動の情報を発信します。

▼フードドライブ(子ども食堂支援)



▼愛の募金活動推進



◀東北復興支援活動への取組み

9 レクリエーション

- 職場における良質なコミュニケーションと一体感の醸成を目指した活動をおこなう。
- 各支部のレクリエーション活動のさらなる活性化をサポートする。

✓ できたこと

- 2023年5月に新型コロナウイルスの5類移行により、職場親睦会補助制度の運用を再開したことで、会社や店舗単位での団結会開催等での活用が進みました。
- 首都圏在勤のメンバーむけに活動を企画・運営する、「首都圏活動委員会」では「本部が企画・動員・運営するイベント」として、2023年9月に「羽田空港のJAL格納庫見学」を企画運営し、参加者からは大変好評でした。

🚩 反省と今後に向けて

- 首都圏活動では大人の工場見学をテーマに5・9(10)月の年2回を目途にイベントの開催を検討します。また、サークル活動に関する情報収集と発信をおこなうことで、メンバーが自身の趣味嗜好に合う活動をつうじたコミュニケーションの機会を創出します。
- 新型コロナウイルスが収束状況にあることをふまえ、首都圏在勤の全てのメンバーが参加できるレクリエーションイベントとして、首都圏合同のボウリング大会を開催します。

2023年6月以降のレクリエーションのご案内

※三越伊勢丹 在勤の従業員対象

※会社での就業も可能

従業員同士のレクリエーションに対する補助金のご案内

これまで新型コロナウイルスの影響等により、団結会や職場での仲間同士の交流を促すレクリエーションの開催が難しい状況でしたが、新型コロナウイルスの5類移行により、職場での活動が再開されたことから、団結会や職場での仲間同士の交流を促すレクリエーションの開催を支援いたします。

＜制度概要＞

- 1) 補助の対象となる活動
職場でのレクリエーションを実施する場合は、オンラインを問わず団結会やサークル活動、研修会やレクリエーション、外部主催イベントや研修会、休日利用のレクリエーション、など
- 2) 補助単位
※三越伊勢丹の従業員同士より以上の開催（所属を問わず可）
- 3) 補助金額
補助金額は人数あたり1,000円以上10,000円以下に設定しております。ただし、2023年3月までの前年度（2022年度）と異なり、2023年度は、オンライン開催の場合は、1,000円を上限とし、オフライン開催の場合は、1,000円を上限とし、補助金額を決定いたします。



▲職場親睦会補助制度の運用

▲2023年9月に企画した「羽田空港のJAL格納庫見学」の様子

第10期後半予算について



知りたい!

組合活動は、メンバーによる組合費で賄われています。組合費は「全ての組合員が収入に応じた費用を負担しあう」との考え方から、各人の本給の定率にて徴収しています。徴収した組合費は、組合活動に用いるとともに、共済会費として共済会に拠出する等、幅広く活用しています。

毎月の本給から1.2%を徴収
賞与時も賞与総額の1.2%を徴収 (上限:7,000円)

- 労働組合の会計は、利益を追求する企業会計(決算・結果主義)とは異なり、支出を抑えて剰余金を増やすことを目的にしていません。限られた組合費収入を効率的に活用しながら活動計画に基づいた予算を策定し、その着実な執行を通じて組合員に対する最大の効果をあげることを目的としています。
- その中でも、第10期本部運動方針のテーマにもある、VOICEサイクルの循環による組織力向上の実現にむけて、第10期後半年度も最大の効果をあげるための予算策定をおこない、組合費執行をおこなっていきます。
- 組合財政は、本部で一元管理を行っており、効率的・効果的な運営を図っています。

2023年度予算

※繰入金・繰越金・予備費は除く

		予算 (単位:千円)	前年予算比	前年実績比
一般会計	収入	734,340	102.2%	93.0%
	支出	885,340	103.6%	102.1%
	差額	-151,000	111.0%	195.0%
闘争会計	収入	2,000	50.0%	84.9%
	支出	10	100.0%	0.4%
	差額	1,990	49.9%	-667.8%
全会計合計 (愛の募金会計除く)	収入	736,340	101.9%	92.9%
	支出	885,350	103.6%	101.8%
	差額	-149,010	112.9%	191.7%
愛の募金会計	収入	1,810	119.9%	113.8%
	支出	3,030	93.2%	128.8%
	差額	-1,220	70.1%	

収入のポイント

- ✓各社の賞与が回復傾向ではありますが、組合員数の逓減により組合費収入の減少が続くことを想定しています。
- ✓三越伊勢丹グループの業績向上に伴い、三越伊勢丹ホールディングス株の配当による収入増加があるものの、その他の有価証券の保有量の減少に伴う分配金等の収入減少が想定されます。従って、有価証券全体では前年実績を下回る見込みです。
- ✓労働組合が所有しているハイコンドミニアムの稼働率が、観光活性化により向上しており収入として堅調に推移する見込みです。

支部の支出のポイント

- 支部の予算は、支部の1年間の活動計画に基づいて策定されています。従って、活動計画の進捗と予算執行は連動していることになります。
- ✓コロナ禍で進んだリモートによる活動と必要に応じたリアルでの活動を合わせた効率的な活動が進んでいます。2023年度は、リアルでの活動が増加が想定される中でも効率的な活動が推進され、2022年度予算を比較すると支部の活動費は減少する見込みです。

その他の支出のポイント

- ✓組合役員・専従者・書記スタッフ等の人件費は、人数や賞与の増減によって変化します。2023年度は、各事業会社の賞与回復・向上に伴い2022年度と比較すると大きく増加する見込みです。
- ✓組合員の逓減に伴い、組合員数等を基準に算出されるUAゼンセン(上部団体)や共済会へ支払う費用は減少する見込みです。
- ✓組合活動に必要な事務所整備・システムインフラ構築は計画通り進んだことから、2023年度の物件費(設備・什器購入費等)は大きな設備投資は必要なく減少する見込みです。

詳しくはP2 QRコードから【第10期】定期本部大会(中間)議案書②(会計)をご覧ください

第10期前半年度 各支部活動紹介

▼ココをタッチ！

[第10期]定期本部
大会(中間)議案書①
をご覧ください。



各支部の運動方針や振り返り、
支部予算、後半年度にむけた活動は
QRコードから確認できるうさ！



本部運動方針を基に、各支部で運動方針を掲げ活動をしています。各支部の労使単位で人事制度や働く環境整備に関わる労使通年協議を行ったり、職場の課題を改善する現場活動、レクリエーション活動などを行っています。



三越伊勢丹支部



外商統括部の長時間労働改善の取り組みとして、メンバーの声を集めることを強化しました！



職場懇話会開催後の報告や、統括部長のインタビューなど、「知らせる」活動にも力を入れました！

梅澤 泰介 #支部執行委員 #外商統括部法人外商グループ 法人第2営業部営業担当
現場での活動が全ての起点！を信念に、メンバーにとって一番身近な聴き役・発信役として、日々寄り添ってまいります。

小屋敷 透 #支部執行委員 #外商統括部法人外商グループ 営業計画部担当
引き続き、現場の声を大切に、働く環境改善と働きやすい職場づくりを目指して、微力ながら頑張ります。



北海道統括支部 札幌丸井三越支部



職場紹介の広報誌「イングちゃん探訪」を発刊しました。



谷脇 直幸 #支部執行委員 #ファッション・レディウエア商品部 メンズ・紳士雑貨担当
広報誌を通して、新しい部門や所属を中心に誌面に取り上げることで、所属間の気づきや、相互理解にもつながっていると思います。今後もメンバーの関心が高いインタビューを継続して行きたいです！

大野 康平 #支部執行委員 #商品統括部 商品企画担当(店舗開発・コンプライアンス)
広報誌の作成、発刊に携わることで、新しいことを知る機会になりました。これからもメンバーへの広報活動に活かしていきます。



北海道統括支部 函館丸井今井直轄分会



職場環境の解決に向けた労使間の対話や、課題解決した内容を「知らせる」発信に注力しました。



職場区リーダー白川さん・吉村さん

「伝える」経営懇話会

「聴く」職場区リーダーミーティング

白川 智也 #直轄分会評議員 #函館店営業統括部外商担当
メンバーから聴いた声や現場のお困り事が、どのように解決につながったかを、メンバーに知ってもらえるよう、広報誌を通した報告や社内掲示板への改善事例の掲出に取り組んでいます。

吉村 大地 #直轄分会評議員 #函館店店舗運営フードコンサル担当
各職場区リーダーが、メンバーから「聴く」、担当する労使会議で「伝える」など、一貫通貫した取り組みを意識しています。今後もVOICEサイクルを通した課題解決に向け活動参加したいと思います！



北海道統括支部 北海道百科直轄分会



「グルメセミナー」を利用することで、北海道の食を学びました。



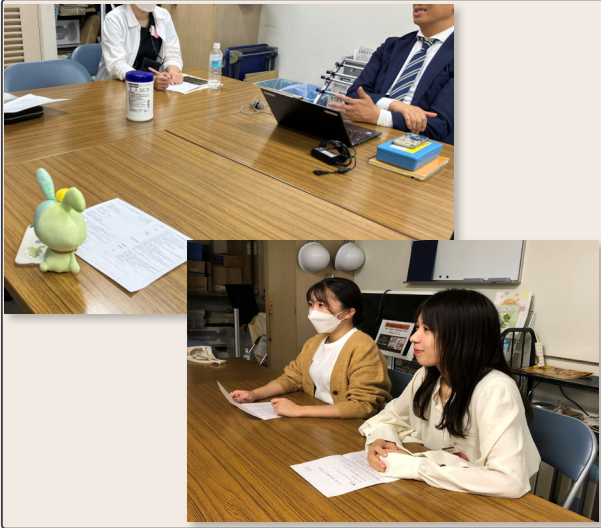
保利 風太 #北海道統括支部書記次長 #営業本部 DX推進兼営業管理担当
直営店メンバーは店頭品、本社メンバーは飲食店の利用で、自分に身近な北海道の食を学んでいます。

播磨 加奈子 #直轄分会評議員 #営業本部リテール事業担当
北海道に住んでいながらも、普段食べない地元の人気グルメや名産品を試す機会となっています。あらためて北海道の魅力を発見しています。



仙台三越支部

所属単位の課題解決に向け、職場懇話会をスタートしました！



若山 ひかる #支部書記次長 #営業統括部 営業計画 顧客担当
感じている課題をすりあわせ、解決に向けて既に取り組んでいることや新たな打ち手を労使で前向きに話し合うよう心掛けて取り組んでいます。

岡野 実来 #支部執行委員 #営業統括部 販売担当(紳士・ラルフローレン・アルマーニ)
初めて職場懇話会に参加し、自分が感じていることやメンバーの声を伝えることができ、意見に対してすぐ所属長からの見解をいただけるのは納得性が高く安心感に繋がりました。お買場の実態を直接経営に伝える機会は今までほとんどなかったため、継続的に実施していきます。



新潟三越伊勢丹支部

労使の対話活性化に取り組んでいます！



大花 淳奈 #支部執行委員 #営業統括部 販売部第二販売担当1階
VOICEサイクルの「伝える」の精度を高めるために経営懇話会に向けて執行部でMTGをして、提言力の強化に取り組んでいます。

和田 友紀子 #支部執行委員 #出向エムアイカード
支部の執行委員として、様々な立場・考え方のメンバーがいることに気を配り、多様な意見を集約できるよう心がけています。



静岡伊勢丹支部

2023絆deジャンプ



今村 紘樹 #支部執行委員 #営業統括部 営業戦略担当 CRM計画
静岡伊勢丹の23年度テーマ「一体感」！チームワーク、息を合わせて一体となり笑顔と楽しさが生まれたレクリエーションを実行し成功に繋がりました。

櫻井 咲幸 #支部執行委員 #営業統括販売担当 ストアオペレーション
初めは怪我の心配など消極的な声もありましたが、やってみると皆で楽しく飛び、応援も盛り上がり大成功となりました。



名古屋三越支部

「人」にフォーカスした組合広報誌「ボイスタ」を通じて、会社全体のコミュニケーション活性化をおこないました！



秋葉 みなみ #支部執行委員 #営業本部 外商統括部ロイヤルカスタマー企画担当
ボイスタの内容をもっとメンバーの関心が高い内容にしようということで、兼任のメンバーで案を出し合い、名古屋三越で働く「人」に関する内容に変更しました！これからも興味をもってもらえる内容にしていきます！

今井 麻莉 #支部執行委員 #営業本部店舗営業統括部米店担当婦人フロア(3F)担当
ボイスタでは経営層や普段の業務で関わらない方の内面的な部分までご紹介することができ、メンバー同士のコミュニケーションの活性化を行うことができました！



広島三越支部

本年も8月6日「平和祈念式典」に参加しました



栗栖 史行 #支部書記次長 #営業統括部商品

8月6日の平和祈念式典に参加してきました。私は生まれも育ちも広島ですが、この日に参加したことはありませんでした。平和のために自分でもできることから取り組んでいきたいと思えます。

府川 正樹 #支部書記長 組合専従

今年は、全国3支部から計5,420羽が集まりました。(広島三越支部3,420羽、仙台三越支部1000羽、高松三越支部1,000羽)。皆様ご協力ありがとうございました。



高松三越支部

「総実労働時間の短縮って何？」解説動画を作ってみました！



西村 祥太 #支部書記次長 #営業統括部 外外部美術担当

はじめての動画制作ということもあり、メンバーの皆さんに伝わりやすいようにするにはどうすれば良いか…必死で3人で考えました！

玉井 遼平 #支部執行委員 #営業統括部 営業運営

この動画を通じて、「本来の取り組み目的」や「取り組み内容」について、メンバーの皆さんの理解が少しでも深まってくれればうれしいです！

小笠原 朋希 #支部書記次長 #営業統括部 営業運営 食品担当

決められた時間に収めつつ、メンバーの皆さんに分かりやすく伝えるにはどうすればいいかを一生懸命考えました。



松山三越支部

組合員の声を聴き、届けるために！！



岡本 みゆき #支部執行委員 #総務・経営企画部 経営企画担当

組合員の声を聴くためにFormsを活用して声を集めています。少人数で運営していく体制づくりをみんなで取り組んでいます。

池内 佐由里 #支部執行委員 #営業部 外商 組織外商II担当

組合員から多くの声を聴き、伝えて改善案を探してフィードバックすることでより良い働き方を提案していきます。



岩田屋三越支部

兼任執行委員によるテーマ別VOICE拡大中



松山 尚平 #支部書記次長 #販売統括部 天神 店舗運営担当(岩本)

コロナ禍では業務以外での交流機会が少なかったため、今後は若手も含め社員同士をつなぐ機会をもっと増やしたいです。

富田 勇気 #支部書記次長 #営業本部特選・ファッション(岩田屋)営業部 本館3階セレクトショップ担当

初めて開催したパバVOICEの様子を広報誌で特集したところ、「制度の勉強になったよ」と好評の声をいただきました。



エムアイフードスタイル支部



職場風土改善・ルール遵守



畑 圭 #支部執行委員 #外販・製造部 ペンダーグループ
 労使にとってより良い会社になるよう、さん付け運動、打刻ルール、ハラスメント防止等に
 取り組んでいます。

安達 恭洋 #支部執行委員 #商品統括本部 商品部 生鮮ギフト(水産・魚勢)兼塩干担当
 兼任役員として、打戻り撲滅にむけ正しい打刻ルール徹底の取り組みを強化していきます！



エムアイカード支部



心理的安全性啓発動画配信



山崎 喜美子 #支部執行委員 #営業本部百貨店営業部 百貨店営業担当
 周りからは「名(迷)演技!」と声を掛けられました。
 新しい取り組みで、皆さんに興味を持っていただけたのは間違いないと思っています。
 これはダメ、だけでなく、どうしたらよいかを示すことは理解を深められたと思います。

小野田 真代 #支部執行委員 #業務部顧客サービス第1担当
 日ごろ優しい組合役員同士でハラスメント気味の演技をしている姿に笑いをこらえるのに
 必死でした！



三越伊勢丹 ビジネス・サポート支部



職場委員会の取り組み



横塚 ひろみ #支部執行委員 #センター業務部 業務推進担当
 [センター担当]アンケート結果を基に、各職場の課題改善に向けた話し合いを行っています。
安倍 智紀 #支部執行委員 #センター業務部 第一業務担当 #第二流通加工業務担当
 [首都圏担当]各担当の周りの環境などをヒアリングして改善へ繋げていきます。
武知 美保 #支部執行委員 #ソリューション営業部 第一営業担当
 [本社担当]本社は少ないメンバーですが、職場内で気になった事案など共有しています。
鈴木 尚子 #支部執行委員 #センター業務部 第一営業担当 共調共配担当
 [地域店担当]通常はリモート開催し、各地域の職場環境の課題を共有・改善を図っています。



三越伊勢丹 プロパティ・デザイン支部



問題意識を持ち自走できる組織を目指します！



布留川 諒 #支部書記次長 #環境創造事業本部 建築事業部 製作管理部 第一担当
 質に拘ったコミュニケーションに注力していきます。多様な考えを理解してメンバーを
 繋ぎ、チーム力を上げていきたいと思っています。

鯛部 紗希 #支部執行委員 #環境創造事業本部 PM事業部 商環境営業部 営業担当
 先ずは自分から働き方を変えるアクションを起こし、実践していったことで見つけた好事例
 を部内に波及させていきたいと思っています。

第10期前半年度 各支部活動紹介



三越伊勢丹 システム・ソリューションズ支部

評議員会 実施中！



前島 珠美 #支部執行委員 総務部総務担当

評議 議論のほか、世間の動向や他支部の状況の共有等も行っており、組合役員のレベルアップの場になっています！

藤本 賢太 #支部執行委員 #ICTオペレーションサービス部 ロケーションインフラ担当

活発な意見交換が行える場を目指しています！色々な方が集まっているからこそ、良い制度に仕上がります。



三越伊勢丹 ヒューマン・ソリューションズ支部

兼任執行委員同席の
経営懇話会開催！！



石田 亜実 #支部執行委員 #営業統括部 化粧品事業担当 化粧品運営グループエリアIIユニット
経営懇話会に出席し、現状の現場の課題について共有をしました。今後も会社の発展のため相互理解を目指します。

和田 宗之 #支部執行委員 #営業統括部 化粧品事業担当 化粧品営業グループ
経営陣と直接お話ができる場合は組合目線のみならず業務の実務者目線としても意見交換ができ、有難い機会だと思います。



三越伊勢丹 ニックアウトラベル支部

執行委員会でしっかり議論！



谷脇 信子 #支部執行委員 #旅行営業部 仕入・業務担当

コミュニケーションの向上、心理的安全性の高い職場を目指し、支部でしっかりと議論をおこないながら活動を進めています。

木島 将也 #支部執行委員 #旅行営業部 海外担当(第1地区)

メンバーが気になることを意識して、通年協議の議論や広報活動に取り組んでいます。



関連グループ支部！

グループハラスメント防止委員会開催！



磯原 由紀夫 #支部執行委員長 #組合専従

五味 潤 晴枝 #支部書記長 #組合専従

今年度から、ハラスメント防止委員会にHDSや本部担当者も参加し、労務間でグループ方針や各社の状況を共有化しています。各社・各分会の職場風土を振り返る貴重な機会になっています。

第10期前半年度 各支部活動紹介



関連グループ支部 II

アサーティブ・コミュニケーションセミナーを開催しました！



山口 善崇 #支部執行委員長 #組合専従

様々な関連会社のメンバーが集まりアサーティブ・コミュニケーションのセミナーを開催しました。これからも日々の業務に活かせる教育を開催していこうと思います。

本部や各支部の活動は各種ツールからも発信中うさ!!



組合ホームページ

知りたい情報・組合活動のすべてが詰まっています！



ログインID
企業コード2桁+社員コード8桁を入力
パスワード
生年月日8桁を入力

▲ココをタッチ！

公式LINE

タイムリーに情報キャッチできます！



友達追加後、自動返信されたメッセージ内のURLからご自身の企業を必ず選択して下さい！
ご自身の支部独自で配信したメッセージが受け取れなくなってしまうので必ず実施をお願いします。

▲ココをタッチ！



X (旧Twitter)

イングちゃんが教わったこと、みんなに伝えたいことなどポスト！
みんなの支部の活動も紹介しているのでフォローよろしくうさ♪



▲ココをタッチ！



第10期前半 活動表彰

定期本部大会では、第10期運動方針の考え方・重点政策を踏まえ積極的に活動へ取り組み、組織・役員・メンバーに好影響を与える等、組合活動に著しい貢献のあった者および団体に対して、組合規約に基づき【活動表彰】を行いました。表彰された3チームの活動を紹介します。

三越伊勢丹支部(日本橋分会)

支部執行委員

恵良 菜穂子さん

三越日本橋本店 営業統括部第2営業部本館2F(婦人服・紳士服)

山中 愛さん

三越日本橋本店 営業統括部第2営業部販売担当



VOICEサイクルを
推進!

左から
恵良さん・
山中さん

活動の ポイント

VOICEサイクルの“聴く”を起点にした『子育てcom』を新たに立ち上げ、育児に関わるメンバーの課題解決、メンバーの連携や助け合いの風土醸成を図りました!



気が向いたときに興味のあるテーマに参加できる場…

年・月	テーマ	内容
2023年 2月	設定なし	・今後の開催に向けたフリートーク ・保育園が休業の朝や変換の迎えのお話 ・会社の上司や周囲の人とのコミュニケーション ・ストレスを軽減するための工夫
” 5月	仕事と育児の両立	・フルタイム復帰する前に準備しておくべきこと ・フル復帰後のこと(仕事・生活)
” 8月	フル復帰前&復帰後	・子どもの高い事や夜泣きについて ・小・中・高学校受験のこと
” 10月	子どもの習い事&受験	・数年後の働き方のイメージについて ・自身のキャリアアップについて ・会社の上級者のコミュニケーション
2024年 2月	自分の今後について	



各回、
約30人も
参加してくれ
たうさ!

こんな効果が
生まれている
うさ!



- ★子育てそのものの疑問や悩みの解消にも繋げ、一人ひとりに寄り添う事に繋がっています。
- ★所属の枠を超えた参加者間の繋がりをつくり、普段の業務から営業部を跨いだ横の連携や助け合いにも繋がっています。
- ★子育ての先輩ママが自らの体験談の基アドバイスを行うことで、相談される側のサポートする意識の醸成にも繋がっています。

継続的な取り組みとすることや支部全体の取り組みにできるよう他分会への拡大も進めています!

広島三越支部

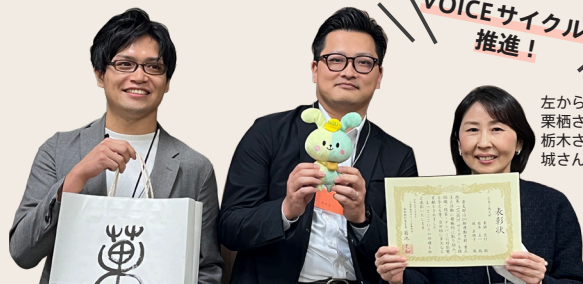
支部書記次長

栗栖 史行さん 営業統括部 商品担当

支部執行委員

栃木 圭一さん 営業統括部 商品担当

城 美穂子さん 総務経営企画部 総務人事・コンプライアンス



VOICEサイクルを
推進!

左から
栗栖さん・
栃木さん・
城さん

活動の ポイント

職場委員会を主体的に運営し、メンバーが声をあげる風土づくりを推進。その土台を活かして、執行委員の『DO宣言』を遂行し、職場課題の解決や新たな活動に繋がっています!

職場委員会を起点としたVOICEサイクルの仕組みづくり

- ★職場委員会の議題設定・運営など実施しています。
- ★メンバーの声を基に会社方針の納得感や新しい働き方への理解浸透にむけ経営懇話会で意見交換・提言を行いました。その成果として会社からの従業員説明会などの中で具体的な取り組み共有など、会社の各種アクションにつながられました。



メンバーから多くの声が届いたことで 職場委員会でも 活発な意見交換が行えよう!

執行委員の『DO宣言』遂行による活動推進

- ★期初に掲げたDO宣言を実行し、メンバーが声を挙げる風土の活性化が進みました。

栗栖さんの
DO宣言!

デジタルツールを活用しながら声をあげる風土構築に取り組み、集まった声を経営に伝えていきます!



栃木さんの
DO宣言!

VOICEや職場委員会で今まで以上に議論し、問題解決に努めます!



城さんの
DO宣言!

介懐に悩む人の声を聴き、課題を見つけ、仕事との両立ができるよう制度に反映していく!



主体的に
取り組んでる
うさね



三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部

支部書記次長
布留川 諒さん 環境創造事業本部 建築事業部 製作管理部 第一担当

支部執行委員
下村 燿子さん 環境創造事業本部 建築事業部 東日本営業部 第一担当
鰐部 紗希さん 環境創造事業本部 PM事業部 商環境営業部 営業担当



VOICEサイクルを推進!

左から
 鰐部さん・
 布留川さん・
 下村さん

活動のポイント

兼任執行委員による職場委員会で課題を話し合い、役員自らが職場で能動的に働き方を変え、業務改善を推進。その成果を職場で知らせ課題解決を継続したことや、労使通年協議の項目へ反映しました!

メンバーの声

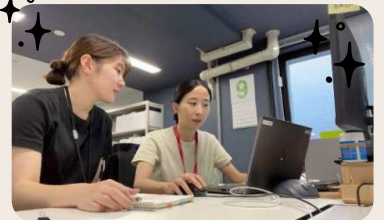
働き方や
 要員体制の
 課題が多い



自分たちで
 工夫できることは?



自分たちで
 変えていける
 ことは?



職場委員会を通じて課題解決に
 繋げていこうという機運が高まり
 主体的に開催・運営を進めました!

職場委員会を通じた課題解決の一例

好事例共有から、自身の業務や職場で改善実践!

★業務効率面での課題に対し改善点や好事例の共有などを行い、各自が持ち帰って職場で実践し、次の職場委員会で、その効果や感想を共有し合うといった活動も行いました。

労使通年協議項目への反映につなげました!

★効率的に業務を進めるために、人財育成には何が必要なのかといったテーマでも議論。「業務運営に必要な国家資格を取得することが、結果として個人の業務スキルの向上にも繋がるのでは?」など議論を深め、結果として労使通年協議項目において、既存の資格保有手当のみならず、資格取得補助・資格取得手当などメンバーの人財育成を後押しする取り組みを労使で検討するための土台となりました。



とっても素晴らしい取り組みうさね~♪
 大会の様子や受賞3チームの紹介動画、ぜひ見てうさっ♪



ココを
 タッチ!

感謝状

下記支部・分会においては支部内で推薦、活動推進頂いたことを称え、「感謝状」を贈呈します。

※写真は受賞支部代表のみなさん

北海道統括支部

札幌丸井三越支部

「職場の見える化」に向けた新たな広報誌として、「イングちゃん探訪」を発刊!メンバーニーズを踏まえた、様々な部門・所属紹介に取り組みました。

支部執行委員
 谷脇 直幸さん 大野 康平さん
 大塚 理奈さん 板垣 友彬さん

北海道統括支部

函館丸井今井直轄分会

広報誌「海峡」の内容を刷新!「組合活動の見える化」に取り組むことで、メンバーが活動に参加しやすい環境づくりを推進しました。

分会評議員兼 職場区リーダー
 白川 智也さん 樋爪 智之さん 吉村 大地さん



仙台三越支部

支部独自「3.11復興支援活動」について、レクリエーション要素を盛り込んだ企画をアップデートし実施!

支部副執行委員長
 真山 諒さん
 支部書記次長
 若山 ひかるさん
 支部執行委員
 岡野 実来さん
 鈴木 賢さん
 白鳥 里奈さん



岩田屋三越支部

兼任役員が自身の職場でメンバーズVOICEを実施!

支部副執行委員長
 松尾 亮さん 三浦 洵さん
 支部書記次長
 富田 勇気さん 松山 尚平さん
 山崎 裕介さん
 支部執行委員
 佐々木 翔さん 小島 今日子さん
 福田 八千代さん 岩下 愛磨さん
 鍋山 章太さん 大門 由美子さん
 上原 万依さん 小林 勇貴さん



高松三越支部

執行部内ならびに現場メンバーへの「労使通年協議」理解浸透に向けた動画を製作!

支部書記次長
 西村 祥太さん
 小笠原 朋希さん
 支部執行委員
 玉井 遼平さん



新潟三越伊勢丹支部

初開催のC+プランの企画から当日サポートまで参画し、有意義な学びの場づくりに貢献!

支部書記次長
 荻野 つかささん
 支部執行委員
 和田 友紀子さん
 清野 千絵さん





議案に寄せられた 質問・意見



質問

広島三越支部 支部書記次長
栗栖 史行



活気に満ち溢れた組合組織を目指したいと思っています。ここ数年はコロナ禍でなかなかできなかったと思いますが、今後、各支部を横断したレクリエーションの予定などはありますか？

組合本部担当者からの回答

現在も、組合本部主導で首都圏規模の活動は検討しています。これを全国規模でおこなうべきかといった点は、今後検討させていただきたいと思います。レクリエーションについても、各支部とコミュニケーションをとっていきます。



意見

エムアイフードスタイル支部 支部執行委員
伊藤 洋平



30歳、40歳、50歳と年齢別に実施するライフキャリアプラン(以下LCP)セミナーについて、参加したメンバーから、内容には満足という声を聴けた一方で、10年単位だと、前回やったことが薄れてしまうという意見もいただいています。セミナー後に、振り返る機会などの検討もおこなっていたらと思います。

組合本部担当者からの回答

LCPは、元々キャリア自律を促していくきっかけとして提供していますので、参加された方も、ぜひ自身でもセミナーの後で振り返っていただければと思います。振り返り機会の提供については、検証していきます。



意見

新潟三越伊勢丹支部 支部書記次長
大野 夏希



昨今、比較的若手の方の退職が目立っているように思えます。キャリアがなかなか描けなかったり、将来に不安を感じていたりするのではないでしょうか？
全社において、入社してから30歳くらいまでの、若手の方を対象とした教育アプローチが必要ではないかと感じています。
組合としても、更なる教育機会の提供という点で、何か検討してもらえないでしょうか。

組合本部担当者からの回答

これからも、本部としては、LCPの機会提供などはおこなっていきます。
一方、全社における教育体系については、確かに現時点では労使の取り組みにおいて、進展がない状況です。これはしっかりと検討していきます。



意見

岩田屋三越支部 支部副執行委員長
三浦 洵



IMGUをより強い組織に持ち上げようと、これまでもVOICEサイクルの活動、特に「聴く」という点を重視して取り組んできました。
一方で、最近では、会社の方もメンバーの声を聴くようになってきて、労使会議の場でも、お互いに持っているメンバーの声に近いものになっているように感じています。
独自かつ生の声を持っていることが組合の強みであり、この点を強めていくためのサポートを本支部二人三脚で実施してほしいです。

組合本部担当者からの回答

「聴く」で得たメンバーの声をどうやって経営に伝えていくかは難しいことですね。この課題解決の鍵になるのは、やはり問題の真因を探る問題解決力だと思っています。
前半年度から支部間の連携は図ってきましたが、今後はより強化していきたいと思います。「話し合う」の手法の共有や、専従者のスキルアップ、マネジメント力の強化をおこなっていきます。



意見

三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部 支部書記次長
鶴見 安訓



愛の募金活動は、自分の支部でも実施しましたが、まだまだメンバーの参加という点で課題があるように感じています。QR決済や、ランドセルや古着などを集めて現金化して募金にまわすなど、新しい募金の手法も考えられませんか？

組合本部担当者からの回答

愛の募金活動において、顔の見える組合役員の方々が、直接声をかけていくことは大きな効果あると捉えています。
メールやVIVAを活用している支部もありますので、今後は各支部のノウハウを共有しつつ、活動を推進していきたいと思っています。
QR決済に関しては、実施に際してはコンプライアンス上問題がないかなど、諸々の確認が必要になります。次の冬の募金でできるかは確認していきたいと思っています。
古着などの募金活動については、キャッシュレス募金のメニューの中にすでにありますので、メンバーへの打ち出しをどう強化していくかを検討していきたいと思っています。



意見

エムアイカード支部 支部書記長
島野 亜衣



現在、各支部にて作成中の労働福祉ビジョンについて、あるべき姿が明確になり、中長期的に推進していく活動の整理をおこなっていると感じています。
一方で、会社にも中期経営計画や中期ビジョンなどがあり、メンバーが混合してしまわないかと気になっています。本部としても、この先の進め方の共有や各支部のサポートを行っていただきたいと思っています。

組合本部担当者からの回答

組合本部の統括担当や労働福祉担当を通じた各支部へのサポートは今後もおこなっていきます。
「中長期的なあるべき姿」という点では、会社も組合も同じ考えを持っていると思います。しかし、立場が違えば、そこには差異が出てきます。この差異が、協議をしていく上で大切なものと認識しています。
後半年度の活動の中で、この労働福祉ビジョンをツールとして使いつつ協議をする土台をつくっていきたくと思っています。



菊池本部執行委員長あいさつ ～定期本部大会閉会にあたり～

菊池史和
本部執行委員長

労働組合の使命と 今後の活動について

定期本部大会の議案は 満場一致で可決しました

第10期から活動期間と役員任期が1年から2年に変更となりました。これは、活動期間における運動方針の実効性を高めていく為の変更ですので、本日の大会で確認をした課題認識や今後の取組みの方向性を踏まえて、後半1年間で、全員で運動方針の実現に向けて取組んでいきたいと思えます。

そういう意味では、本日の大会は、全国の皆で議論を深めることができましたので、非常に有意義な会となったと思えます。

次年度の賃上げに向けて

2023年度の春の交渉では、全支部一律で2000円のベースアップを要求し妥結に至りました。

また同時に、新しいベースアップ算出式についても労使合意を図ることができており、これにより次年度より3年間は新しい算出式のもとで要求を行っていくことになっています。

しかしながら、今年度の物価上昇率の推移は、式を設計した時点の予測を大きく上回る状況であることも事実であり、これについてはメンバーからも多くの声が挙がっていることと認識しています。

次年度の春の交渉におけるベースアップ要求については、今後の物価上昇率の推移を注視しつつ、引続きあり方について検討を行ってまいります。

なお、要求水準についても、これまで同様「グループ内の一体感醸成」「会社間・雇用形態間の格差是正」「要求内容の分かりやすさ」の観点を踏まえて検討を行っていくものとします。

ベースアップ要求・定期昇給・24年6月賞与も含めて、総合的にどのように賃上げを行っていくべきか、本支部で互いに知恵を出し合いながら、2024年度春の交渉・24年6月賞与に向けて取組んでいきたいと思えます。



企業ガバナンスの重要性

～経営に率直に課題提起できる組織は 労働組合しかない～

企業ガバナンスにおける労働組合の役割の重要性については、これまでも申し上げてきましたが、昨今、社会的にも企業ガバナンスが問われる事象が生じています。

企業ガバナンスの強化にあたって、社外取締役の重要性が叫ばれていますし、経営に対する監督という意味では非常に重要な役割だと思います。その一方、企業内部の事情を熟知しているのはそこで働く従業員以外にありません。とは言え、会社や職場における課題が職制のラインを通じて経営に上がることは極めて困難であり、その意味では、「企業の内部事情を把握しつつ」、「経営に対して直接かつ率直に」課題提起できるのは労働組合しか存在しない、と考えます。

今期、重点的に取組んでいるVOICEサイクル構築は、まさにこの為に取り組んでいます。現場の実態を的確に把握し、経営に課題提起していくには、現場にいる執行委員・評議員・職場委員の皆さんの力が必要不可欠です。組合役員全員の力を結集し、会社をより良い方向に進めていけるよう、経営と議論していくことが非常に重要です。

「VOICEサイクルも多くの支部・職場で着実に具体的な取組みとなってきています。後半年度も引続き、課題改善に向けて、本部・全支部で連携して取り組んでいきましょう。

渉外活動

そごう西武労働組合によるストライキ権行使について

2023年8月31日、そごう西武労働組合はストライキ権行使に踏み切ることとなりました。

三越伊勢丹グループ労働組合は、それまでの期間、そごう西武労使における株式譲渡後の雇用のあり方をはじめとした労働条件に関して建設的な協議が行われていない状況の打開に繋げるべく、他の百貨店労組の皆さんと共に、会社に対する要請書の提出、署名活動への協力、そしてストライキ当日のデモ行進に参加し、そごう西武労働組合の行動を全面的に支持・支援してまいりました。

しかしながら、同日の8月31日に、そごう西武売却の決議がなされました。売却そのものは経営の専権事項ではあるものの、労使協議が前進しないままに経営決定がされたこと、そして何より、困難な時こそ労使が一体となって知恵を出し合う必要があるにも関わらず、いかなる働きかけを行っても事態が改善に向かわなかったことは、極めて残念に思います。▲ココをタッチ！

一連の取組みを通じ、労使による健全な対話の重要性を改めて痛感しました。困難な状況であればあるほど、会社と従業員が共に知恵を出し合って私たちが改めて労使双方で労使関係の重要性を認識しつつ、これまで以上に健全で、信頼感と緊張感ある労使関係を構築し続けることができるよう、努めていきたいと思います。

また、三越伊勢丹グループ労働組合は、そごう西武における労使協議を前進させるために、今後も共に取組んでまいります。本件に関する皆さまのご理解のほどありがとうございました。



X(旧:Twitter)投稿記事

ストライキ権行使にいたるまでの経緯・見解の詳細はこちらからご確認ください



本部社会貢献担当からのお知らせ

IMGUは街や河川・海岸の清掃活動を推進します！

IMGUは第10期より資源・環境保護活動の取組みとして、街や河川・海岸の清掃活動を推進しています。ここでは、取組む目的や主な取組みをお知らせします。



取組みの目的について

- ① **地域の美化**…街頭での清掃活動をおこなうことで、私たちが働く店舗をはじめとした事業所のある地域の環境美化につなげます。
- ② **ゴミの海洋流出防止と生態系の維持**…河川や海岸の清掃活動をおこなうことで、プラスチックをはじめとするゴミの海洋流出や海の生き物の生態系への影響を減少につなげます。(海ゴミの80%は河川からと言われています。)
- ③ **ゴミの回収・分別・リサイクルへの意識啓発**…清掃活動へのメンバーの参加や取組みを広く周知することで、普段の生活の中でゴミの回収や分別、リサイクルへの意識啓発につなげます。

目的

地域の美化

海洋流出の防止と生態系の維持

ゴミ回収・分別・リサイクルの意識啓発

主な取組み内容について

- ① **街頭や河川・海岸の清掃活動**…本部や支部がメンバーとともに店舗やオフィスなどの事業所周辺の町や、その地域にある河川や海岸の清掃活動に取組みます。
- ② **清掃活動の情報発信**…本部や支部が実施した清掃活動の情報を社内・外に対して発信します。
- ③ **清掃活動の輪を広げる**…本部・支部が実施する清掃活動にゴミ拾いアプリ「Pirika」を活用することや、参加者等に紹介することで、一緒に清掃活動に参加する仲間を増やします。

取組み

街頭や河川・海岸の清掃活動

清掃活動の情報発信

清掃活動の輪を広げる

ゴミ拾いアプリ「Pirika」でゴミ拾いの輪に加わろう！

「Pirika」は「ごみ拾いを楽しく、続けやすく！」を合言葉に開発されたゴミ拾いSNSアプリで、すでに世界100か国以上の地域で累計2億個以上のゴミ拾いに活用されています。アプリではこれまで実施してきたゴミ拾いの記録・発信や、ユーザー間でのコメントや「ありがとう」を送り合うこと、アプリ内で作成されたゴミ拾いイベントに参加することができます。IMGUのグループもあるため、アプリのダウンロードとグループへの参加をお待ちしています！

ココをタッチ！▶



▲「Pirika」の公式ホームページ

ココをタッチ！▶

「Pirika」内のIMGUグループ▶



組合事務所・共済会 窓口のご案内

札幌丸井三越 (札幌三越)

〒060-8666
北海道札幌市中央区南一条西 3-8
札幌三越内一銀ビル 5 F
TEL 外線 011-222-8536 内線 817-33800
FAX 外線 011-251-0538
●共済会受付時間
月・水・金 11:00～17:00

札幌丸井三越 (札幌丸井今井)

〒060-0061
北海道札幌市中央区南一条西 2 丁目
丸井今井札幌本店西館 2F
TEL 外線 011-205-2525 内線 817-22525
FAX 外線 011-205-2524 内線 817-22524
●共済会受付時間
月～日 10:00～19:00

函館丸井今井

〒040-8701
北海道函館市本町 32-15 丸井今井函館店 2 F
TEL 外線 0138-32-1033 内線 892-1033
FAX 外線 0138-52-5808
●共済会受付時間
月～日 10:00～18:30

仙台三越

〒980-8543
宮城県仙台市青葉区一番町 4-8-15
仙台三越定禅寺通り館 6F
TEL 外線 022-261-3185 内線 875-2673
FAX 外線 022-224-2489
●共済会受付時間 不定休 10:00～15:30

新潟三越伊勢丹(新潟伊勢丹)

〒950-8589
新潟県新潟市中央区八千代 1-6-1
新潟伊勢丹 7 F
TEL 外線 025-243-7566 内線 807-2251
FAX 外線 025-243-7585 内線 807-2282
●共済会受付時間
月・火・水・金・土 10:00～17:45

静岡伊勢丹

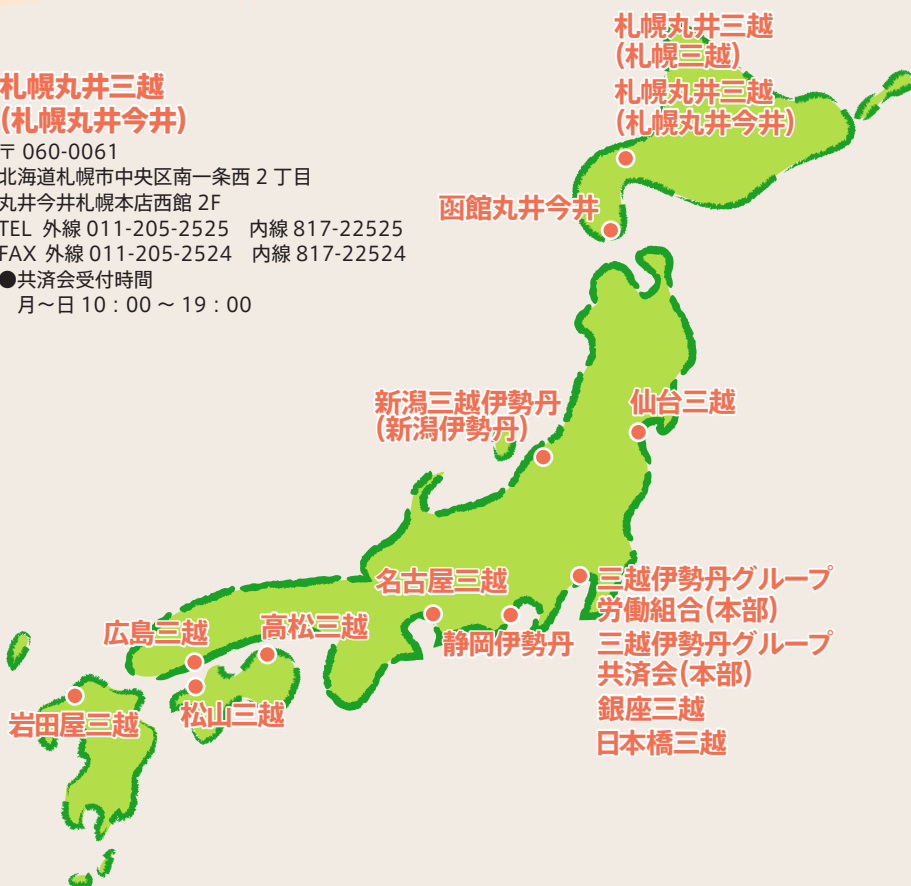
〒420-0031
静岡県静岡市葵区呉服町 1-7 静岡伊勢丹別館 2F
TEL 外線 054-252-9825 内線 811-2660
FAX 外線 054-252-9826
●共済会受付時間 不定休 10:00～18:30

名古屋三越(栄)

〒460-8669
愛知県名古屋市中区栄 3-5-1
名古屋三越栄店 6F
TEL 外線 052-252-1661 内線 820-1661
FAX 外線 052-252-1660 内線 820-1660
●共済会受付時間
不定休 10:00～17:00

名古屋三越(星ヶ丘)

〒464-8661
愛知県名古屋市中区千種区星ヶ丘 14-14
名古屋三越星ヶ丘店 8F
TEL 外線 052-783-3369 内線 823-3369
FAX 外線 052-783-3368
※常駐していません



広島三越

〒730-8545
広島県広島市中区胡町 5-1 広島三越 8 F
TEL 外線 082-242-3259 内線 834-541
FAX 外線 082-243-6966
●共済会受付時間
月、火、木、金 10:30～15:30

高松三越

〒760-8639
香川県高松市内町 7-1
高松三越アネックス 4 F
TEL 外線 087-825-0848 内線 840-2083
FAX 外線 087-821-1405
●共済会受付時間 不定休 10:00～17:00

松山三越

〒790-8532
愛媛県松山市一番町 3-1-1
松山三越 B2F
TEL 外線 089-934-8876 内線 841-2555
FAX 外線 089-945-4922
●共済会受付時間 不定休 10:00～17:00

岩田屋三越

〒810-0021
福岡県福岡市中央区今泉 1-6-1
岩田屋三越今泉ビル 1 F
TEL 外線 092-712-6870 内線 815-3197
FAX 外線 092-721-6060 内線 815-3199
●共済会受付時間 不定休 10:00～16:00

銀座三越

〒104-0061
東京都中央区銀座 4-8-12
コチワビル 6F
※常駐していません

日本橋三越

〒103-8001
東京都中央区日本橋室町 1-2-4
三越 SD ビル 7F
TEL 内線 882-6638 FAX 内線 882-6647
※常駐していません

三越伊勢丹グループ労働組合(本部)

〒160-0022
東京都新宿区新宿 5-17-18 H&Iビル 1 F
TEL 外線 03-5273-5165 内線 801-23-911
FAX 外線 03-5273-5177
●組合受付時間 月～土 10:00～18:00

三越伊勢丹グループ共済会(本部)

〒160-0022
東京都新宿区新宿 5-17-18 H&Iビル 1 F
TEL 外線 03-5273-5139 内線 801-23-914
FAX 外線 03-5291-7395 内線 801-23-919
●共済会受付時間
月・火・水・金・土 10:00～18:00